

令和5年第6回 日高市教育委員会会議録

開催の日時	令和5年6月26日（月曜日） 午後1時40分から4時6分まで
会議開催の場所	市役所501会議室
会議の公開又は非公開の別	公開。ただし人事案件については非公開。
非公開理由	個人に関する情報が含まれるため。
出席委員の氏名	中村一夫（教育長）・山川治美・島村由起男・芳澤佐織・馬場優子
欠席委員の氏名	なし
説明員の職氏名	教育部長 滝沢淳・教育部参事 長嶋伸一・教育総務課長 野口重昭・学校教育課長 利根川典正・学校教育課副参事 下ノ坊圭・生涯学習課長 中條智則・高麗川南公民館長 松本康彦
出席した事務局職員の職氏名	教育総務課主幹 大河原夏樹
傍聴者数	1人
会議資料の名称	会議次第、教育長報告、議案第24～27号

議題及び決定事項等

議案第24号 日高市教育事務の点検評価に係る学識経験者の委嘱について

【原案どおり可決】

議案第25号 日高市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について

【原案どおり可決】

議案第26号 日高市社会教育委員の委嘱について

【原案どおり可決】

議案第27号 日高市立図書館協議会委員の委嘱について

【原案どおり可決】

会議の経過

1) 前回会議録の承認事項 出席委員異議なく承認

2) 教育長報告の要旨

○校長会議、教育委員会部課長会議における教育長指示・伝達内容について報告した。

○その他、各部課長から、実施した事業等の結果と今後の予定を報告した。

3) 教育長報告についての質疑及び答弁の要旨

【教育長報告関連】

(委員) 市議会の一般質問について、学校給食の無償化に関する質問があったが、子どもの権利の観点からも無償化を進めるべきとはどういった趣旨なのか。

(教育部長) 子どもは長時間学校に拘束されているので、給食は無償で提供すべきといった趣旨である。

(委員) そういう理論であれば、職場などでもそうするべきということになる。無償化している自治体があるが、どういった目的で行っているのか。

(教育部長) 坂戸市では子どもは宝であるという理由で行っている。本市では財政的に見ても困難である。

(委員) 何でも無償化すればよいというものではないと思う。

(委員) 別の議員からは、給食で動物性たんぱく質除去食を献立に取り入れることについての質問があったが、どういった趣旨か。

(教育部長) 肉や魚に加え、卵や乳製品、蜂蜜などを含めた動物性食品を一切摂取しないヴィーガンの考え方に基づいた質問であった。

(委員) 動物性たんぱく質を接種するかしないかは個人の自由であるが、人体に必要な必須脂肪酸は体内で生成できないので、そういった食材から摂取しなければならない。

(教育部長) 動物性たんぱく質は重要な栄養素を効率よく摂取できる食材であることと、各栄養素をバランスよく提供するのが学校給食であると答弁した。

(委員) こういった主義主張を質問することはいかがなものかと思う。科学的な根拠に基づいてしっかりと回答してもらいたい。

(委員) 働き方改革と今回の USB メモリの紛失はリンクする話である。データを持ち出せない状態で、早く帰れと促せば、結果的に、仕事がたまってしまい、家でも仕事のことを考え続けてしまい体調を崩すことになってしまう。学校では、働き方改革の効果で、残業時間が減ったといっても、家に持ち帰って仕事をしていては同じことである。中途半端に持ち出せる状態もよくないと思う。

(教育部参事) 具体的な取組を少しずつ進めていきたい。

(委員) 朝の活動をなくす取組はメリットがあったと思う。要領がいい教員もいればそうでない教員もいる。今までのやり方を根本的に見直して、余裕を持たせなければ、解決はしないと思う。

(教育長) ひとつの方法で全てが解決するとは思わない。システム的な問題、突発的な事態、教員の意識の問題がある。教員の意識については、仕事量が多いのか、意識改革によって改善するのかを各学校で進めている。また、県教育委員会でも、朝活動の見直し、教員の本来あるべき仕事の精査、教員の補助者の割り当てなどシステム的な問題解決を進めているところである。

(委員) 昔と違って今の世代は、意味もなく学校に残ることは少ないと思う。デジタルとアナログの狭間のため、業務が増えている気がする。システムとして画一的なものを作っていかなければならない。少子化、教員不足は深刻になっていく。幸せな職業環境でなくてはならない。今までの固定観念を忘れて、若い教員の気持ちに寄り添って考えてもらいたい。短縮、働き方改革ありきになっている気がする。現

- 場で働く人たちの気持ちを大切にしてもらいたい。
- (委員) USB メモリについて、校長の許可があれば持ち出せるといのはおかしいのではないか。
- (教育長) 本来であれば、USB メモリは校内のみでの使用とし、必要な場合はクラウドで行う仕組みとなっている。物理的に USB メモリにデータが保存できる状態になっていた。
- (学校教育課副参事) 現在仕組みの見直しをしている。
- (委員) 給食での地場産野菜の活用を増やしていく目標を立てているが、現状はどうか。
- (教育部長) 1日の給食に地場産野菜を取り入れた日数の割合は、令和4年度は70.7%である。
- (委員) これからは少子化で子どもが減っていく。市内の個人農家でも食材が確保しやすくなると思う。地産地消ができればよい。
- (教育長) 現状ではまとまった食材の確保が課題である。学校内で給食を作っているところなら食材の量が少なくてもすむので確保はしやすい。
- (委員) 学校給食でお茶の日を作るとあるがどういうことか。
- (教育部長) 市の特産である狭山茶を味わう取組である。牛乳が飲めない子どももいるので、皆で同じものを飲める日を設けるといのものである。
- (委員) 牛乳はカルシウムを摂取するのに大切なものだと思う。家庭だとなかなか飲まないのありがたいと思っている。
- (教育部長) 現在のところ年1回のみの実施予定である。
- (委員) どのように提供するのか。
- (教育部長) 紙パックで提供予定である。
- (委員) 乳幼児の時期にアレルギーになりうるものを過剰に摂取すると敵と認識してしまうことがある。学校給食の場だけであれがだめ、これがだめといのはおかしいと思う。全てではないが、家庭での食育で防げるものもある。
- (委員) 学校運営協議会、地域学校協働本部について、高根地区の進捗状況はどうか。
- (高麗川南公民館長) 高根地区社会支援バンクというのを協働本部で立ち上げを予定している。個人、団体にバンクに登録していただいて、学校からの要請に答えられるシステムを構築している。先だって交流会を開催し、グループワークを行ったところである。
- (委員) コミュニティ・スクールを進めるうえで、公民館長は重要な役割を担っていると思う。
- (委員) 教員不足について、子どもが授業中に教室を出て行ってしまうことがあると聞いた。そういった子どもへの対応のために補助する人員は配置できないか。
- (教育長) 学習支援員を配置しているが人数に限りがある。突発的な事象については、空き時間の教員や管理職で対応している。
- (委員) 発達障がいの有無でも対応が変わってくると思う。外に出ていったしまった場合にコミュニティ・スクールを生かして地域と連携できればよいと思う。
- (学校教育課長) 小学校では特別支援学級や小学校1年生のクラスに学習支援員を配

置している。また、インターフォンや無線を活用して校内で連携して対応している学校もある。

4) 議案についての質疑及び答弁の要旨

議案第 24～27 号 【非公開のため記載せず】

5) その他

(1) 次回定例会の日程等について

- 7 月定例会：7 月 27 日（木曜日）午後 1 時 40 分から 委員了承
- 8 月定例会：8 月 29 日（火曜日）午後 1 時 40 分から 委員了承